

「和鉄の道・Iron Road」2024年 | 年を振り返って Mutsu Nakanishi from Kobe



神戸新聞より



◎ 能登半島大地震ではじまった激動の1年

能登ではまだまだ復興の足音が遠く、支援の手が急ピッチで進むことを願っています。
 また、ロシアのウクライナ侵攻も3年を迎えましたが、一向に収まらず、さらにイスラエルのパレスチナ侵攻と戦禍で廃墟と化した都市と逃げ惑う人の群れ。激変する中東そして中国の海洋進出に北朝鮮の核開発が急ピッチで進む。
 戦禍は収まるどころか、世界が戦争・核の脅威に巻き込まれる危険をはらんだ状況の中、世界的な物価高と政情不安に世界がおそわれる状況に。

◎一方 地球環境変化による自然災害もますます過酷に 世界が激甚災害に襲われる状況。

地球温暖化 24年の世界気温、上昇幅1.5度超 EU 機関見通しに。
 このまま脱炭素の取組が進まぬと、地球暴走に歯止めがかからぬ時代へ。
 地球上で暮らすわれら地球人 良くも悪くも一人よがりだけでは生きてゆけぬ時代になったと感じる一年。
 核の脅威と戦禍 そして、物価高と人々の暮らしの格差も世界そして日本でも大きく広がりつつある状況。
 これから先がどうなるのか、一日も早く みんながみんな 平和に暮らせる時代が来ることを願う一年でもありました。

◎今年の夏は日本各地で酷暑と猛烈な集中豪雨が各地で猛威を振るい、また、遅れた短い秋。

日に日に色濃くなる素晴らしい秋景色に魅せられた年に。今までの季節感が随分変わりました。

これも地球温暖化がもたらした産物と考えるとちょっと複雑。良くも悪くも時代が変わる。

◎ノルウェーのノーベル賞平和委員会は日本原爆被団協の活動を2024年ノーベル平和賞に

厳しい時代を迎える中で、ノルウェーのノーベル賞平和委員会は日本原爆被団協の活動を2024年ノーベル平和賞に選
び、現在の危機的状況に警鐘を鳴らす。若者たちへの平和運動への参画を訴えるとともに、大国主義に頼る今の世界情
勢に強い警鐘を訴えた。

◎新しい時代幕開けの予感とともに 地球環境変化を食い止める脱炭素社会への取組には影を落とした一年に

ドジャース大谷選手やパリ五輪で活躍した若者たちの笑顔が世界の人たちを勇気づける。

一方、自然災害の激甚化は収まるどころか、益々凶暴化し、猛威を振るう。

世界情勢の厳しい現実が脱炭素社会構築への取組にも影を落とした一年でした。

脱炭素社会構築の基本となる再生エネルギーへの転換にも大きな影響。膨大な設備投資を伴う再生エネルギー資源の実
用化へのアプローチが遅滞し、それを補う原子力発電への回帰が取り出された年でもあった。

日本でも、化石燃料による火力発電の縮小のために 本年末には原子力発電復活への修正が静かに行われた。

◎激動の時代の中、日本は孤立 政治は混迷 誰の目にも日本の衰退が見えてくる。

その象徴的な光景「インバウンドの波」日本で安く物が買えて、不思議の国日本観光も…

日本は高齢化・人口減が進み、技術立国日本を牽引してきた製造業の衰退が著しく、労働人口減少・人口減少の中で、
GNPの衰退に歯止めがかからず。世界的な厳しい物価上昇の中で、先進国で唯一賃金上昇が進まぬ国に。

政府は観光立国日本 高度情報化を声高に叫ぶが、「これでよいのか 日本!!」

この秋 厳しい国際情勢に巻き込まれる日本でも日本の高度情報社会の課題が爆発した

- 1.自民党幹部議員の裏金問題 政権与党自民党の衆議院選挙の歴史的敗退
- 2.闇バイトと呼ばれる顔の見えない世界 Webに操られた脅迫犯罪への対処への無力な姿
- 3.インターネットを操る人たちに占拠された兵庫県知事出直し選挙の姿

もう老獪な仲間政治では世界に伍する事が出来ないことが、国民にも見えてきた年でもありました。

良くも悪くも日本も若者の時代への転換を進めないと、日本の疲弊は益々進むだろうと……

なにはともあれ、時代が変わる 世界が変わる激動の一年 若者たちのエネルギーに期待一杯。

一日も早く平和で穏やかな社会の実現を願う一年でありました。

そんな中で、老いと向き合う毎日ですが、愚痴は言うまい

みんなにも 助けてもらいつつ 日一日また一日 元気に毎日をと 前向いて

ありがとうございます。引き続き お互い元気で毎日を

God Be with You!!

2024.12.31. 2024年を振り返りつつ From Kobe Mutsu Nakanishi



日本製鉄 水素高炉

日本製鉄は20日、脱炭素戦略の一環として開発中の高炉水素還元製の製鉄手法で、**二酸化炭素 (CO2) を40%以上削減する技術を試験炉で確立したと発表した。**40%を超える削減は世界で初めてといいい、開発目標としていた2025年末から1年前倒しで達成した。 1日前
<https://www.nikkei.com>

日本製鉄、試験炉で高炉水素還元 世界初CO2削減40%超 - 日本経済新聞



膨大な設備投資を伴う再生エネルギー資源の実用化へのアプローチが遅滞 世界的な原子力発電への回帰

水素製鉄はまだまだ、試験段階。着々と進む大型電気炉。日本は大量生産と製鉄原料の自由度の大きい高炉の復権に成功できるだろうか…